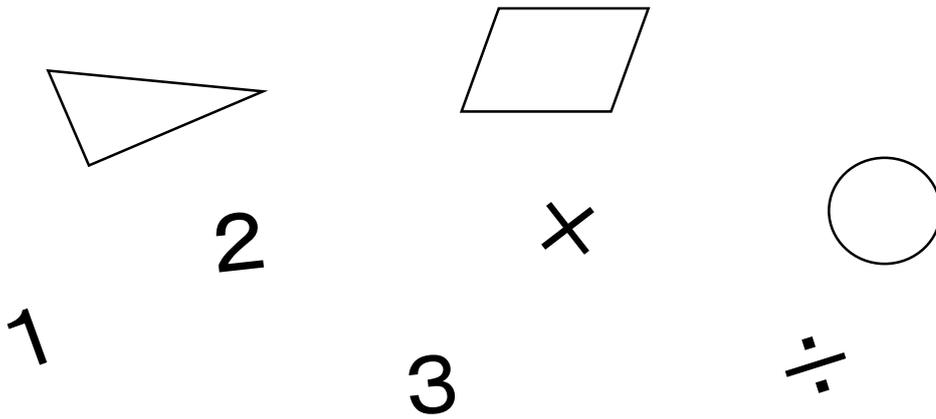


A ぶ り

【算数編】



小学校算数「A ぶり」の活用法

I コンセプトA

旭川市子どもたちのために！

あさっぴーと一緒に！

II ねらい

朝の学習など、ちょっとした時間(10分程度)を活用して、算数科の基礎的・基本的な学習内容の定着を図りましょう。

III 2種類のシート

A.ぶり	小数と整数のたし算	○○○○○○
月 日 名前 ()		
5.6+3で計算します。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか？		
$\begin{array}{r} 5.6 \\ +3 \\ \hline 8.6 \end{array}$ 位をそろえて計算		$\begin{array}{r} 5.6 \\ +3 \\ \hline 5.9 \end{array}$ 右にそろえて計算
2 算算で計算しましょう。		
① 1.2+7	② 8+4.3	③ 7.9+2
3 学力調査の問題に挑戦！		
算算で計算しましょう。		
① 1.0.3+4		
答え ()		
H29-044		

A ぶり

これまでの全国学力・学習状況調査において課題が見られた問題、日常の授業の中で未定着の児童が多いと考えられる問題及び確実に知識・技能を定着させたい問題を中心に作成しました。

1 あさっぴーと確認

2つの解き方(考え方)を比べて、正しい解き方(考え方)を確認させましょう。

ちなみに、どちらが正解かは、あさっぴーのそれぞれのポーズに法則性があります。

2 練習問題に挑戦

あさっぴーと確認したことを使って、練習問題に取り組ませましょう。

難易度は教科書と同じくらいですので、時間内でなるべく多くの問題に取り組むことを目標に取り組ませましょう。

3 学力調査の問題に挑戦！

練習問題をクリアした児童に挑戦させましょう。

A ぶり W

コンセプト“W” = 「write(書く)」と「Wキャスト(あさっぴー&ゆっきりん)」として、記述式の問題を練習するプリントとなっています。

1 あさっぴーの解説

あさっぴーの解説をもとに、例題を解くポイントを簡単に確認させましょう。

2 ゆっきりんからの出題

例題と似ているところや違うところに着目するように促しましょう。

3 書いてみよう！

あさっぴーの解説をお手本に、()に当てはまる言葉や数を書かせましょう。

書き終わった児童には、必ず読み直しをさせましょう。

4 レベルアップ！

宿題などで取り組ませましょう。

A.ぶり W	かけ算3rd	○○○○○○
月 日 名前 ()		
200×3の計算は、200は100を2こあつめた数なので、2×3=6で、ぜんぶで100を6こあつめた数になります。だから、200×3=600になります。		
	400×6のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。	
1 書いてみよう！ 例(1)にあてはまる言葉や数を書きましょう。		
400は()を()こあつめた数なので、()×()=()で、ぜんぶで()を()こあつめた数になります。だから、400×6=()になります。		
2 レベルアップ！ 500×8の計算のしかたをせつめいしましょう。		

《旭川市学力向上学習プリント集PDFのURLとQRコード》

問題 https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/218/251/257/d056900_d/fil/sansu_mondai.pdf

解答 https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/218/251/257/d056900_d/fil/sansu_kaitou.pdf



問題



解答

月 日 名前 ()

1 253と532の大きさをくらべます。どちらのくらべ方が正しいでしょうか？

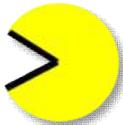
$\underline{253} \text{ vs } \underline{532}$
 ↑ ↑
 小さな位から、くらべる。



$\underline{253} \text{ vs } \underline{532}$
 ↑ ↑
 大きな位から、くらべる。

2 □に不等号 (> か <) を書きましょう。

① 1 0 9 □ 1 9 1	② 4 5 3 □ 5 4 3	③ 2 0 5 □ 2 5 0
④ 6 6 7 □ 6 7 6	⑤ 4 3 1 □ 4 5	⑥ 7 7 □ 7 1 4
⑦ 4 6 2 5 □ 3 6 5 2	⑧ 5 2 3 7 □ 5 2 7 3	⑨ 9 0 8 6 □ 9 0 8 9



ぼくはくいしんぼう！大きな数の方に口をあけて食べちゃうよ！

3 学力調査の問題に挑戦！

下の①と②について、それぞれ2つの数の大きさを比べて、□に入る不等号を書きましよう。	
① 7 5 □ 2 5	② 1 0 4 □ 1 1 2
H28	

月 日 名前 ()

1 201 - 9を筆算で計算します。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか？

$$\begin{array}{r} 201 \\ - 9 \\ \hline 208 \end{array}$$

ふつうに一の位から計算します。



$$\begin{array}{r} 01 \\ 01 \\ - 9 \\ \hline 192 \end{array}$$

一の位はひけないので、百の位、十の位からくり下げていきます。

2 筆算で計算しましょう。

① 302 - 8	② 407 - 5	③ 503 - 7

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。	
① 806 - 8	② 905 - 8
答え ()	答え ()
H23	H28

月 日 名前 ()

1 5.6 + 3を計算します。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか？

$$\begin{array}{r} 5.6 \\ + 3 \\ \hline 8.6 \end{array}$$

位をそろえて計算



$$\begin{array}{r} 5.6 \\ + \quad 3 \\ \hline 5.9 \end{array}$$

右にそろえて計算

2 筆算で計算しましょう。

① 1.2 + 7	② 5 + 4.3	③ 7.9 + 2

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。

① 10.3 + 4

答え ()

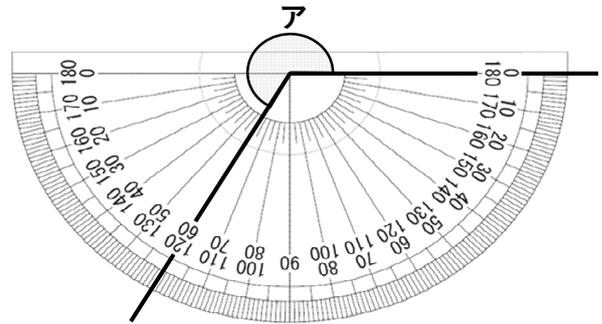
月 日 名前 ()

- 1 右の角アの大きさを分度器を使ってはかります。 $180 + 60 = 240$ で求めたのはどちらの考え方でしょうか？

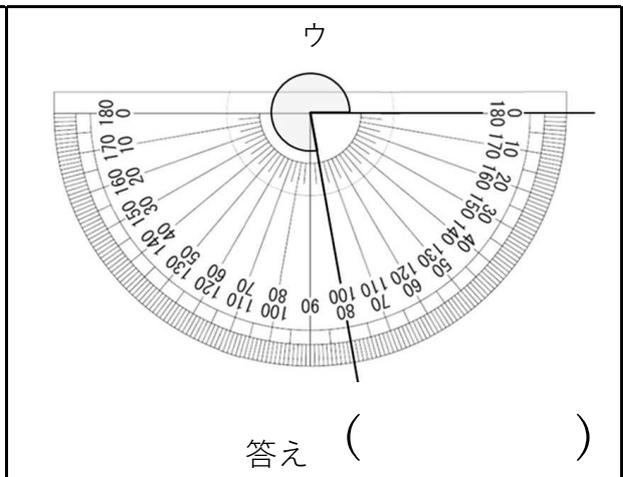
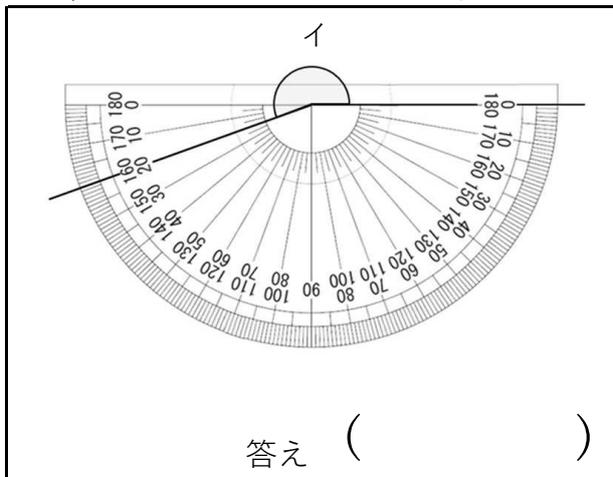
一回り分の角度は 360° になる。
角アは、その 360° から必要のない 120° をひけばいいので、 240° になる。



角アは、 180° より大きい。
だから、 180° に、こえている 60° をたして 240° になる。

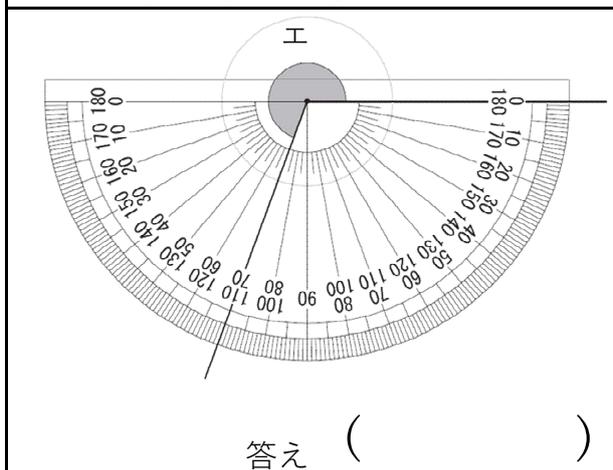


- 2 角イ、角ウの大きさは何度ですか。

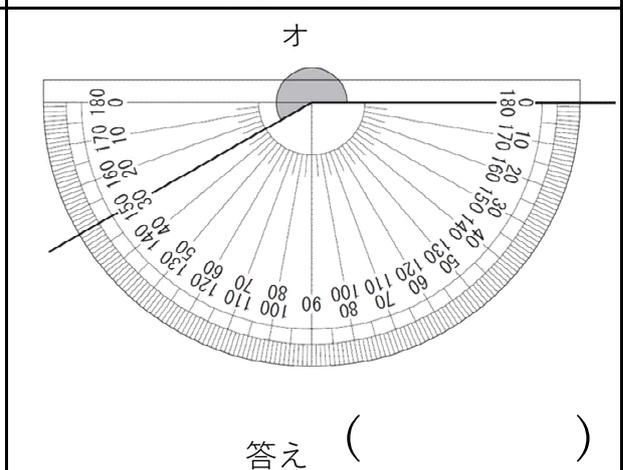


- 3 学力調査の問題に挑戦！

角エの角度は何度ですか。



角オの大きさは何度ですか。



Aふり	がい数	○○○④⑤⑥
-----	-----	--------

月 日 名前 ()

1 3568を四捨五入して百の位までのがい数にします。どちらが正しいでしょうか？

6
~~3568~~

百の位までの概数にするのでひとつ前の十の位を四捨五入する。
答えは3600



4
~~3568~~

百の位までの概数にするので百の位を四捨五入する。
答えは4000

2 四捨五入をして、がい数にしましょう。

<p>① 千の位まで</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px;">47091</p> <p>答え ()</p>	<p>② 一万の位まで</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px;">32051</p> <p>答え ()</p>
<p>③ 上から2けた</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px;">1018</p> <p>答え ()</p>	<p>④ 上から2けた</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px;">89561</p> <p>答え ()</p>

3 学力調査の問題に挑戦！

四捨五入して一万の位のがい数にしたとき、20000になる整数を、下の①から⑤までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- ① 14500
- ② 15000
- ③ 19500
- ④ 24999
- ⑤ 25000

答え ()

月 日 名前 ()

1 $5 + 4 \times 3$ も計算をします。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか。

$$\begin{aligned} 5 + 4 \times 3 &= 5 + 12 \\ &= 17 \end{aligned}$$

たし算とかけ算なら、かけ算を先に。



$$\begin{aligned} 5 + 4 \times 3 &= 9 + 3 \\ &= 12 \end{aligned}$$

左からじゅんに計算する。

2 計算しましょう。

$$\begin{aligned} \text{① } 60 \times 2 - 80 &= \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } 6 \times 8 - 4 \div 2 &= \\ &= \end{aligned}$$

$$\text{③ } 150 - 50 \div 2$$

3 学力調査の問題に挑戦！

計算しましょう。

$$\text{① } 100 - 20 \times 4$$

答え ()

$$\text{② } 6 + 0.5 \times 2$$

答え ()

月 日 名前 ()

- 1 赤いリボンの長さは30 cm, 青いリボンの長さは6 cmです。
青いリボンの長さは, 赤いリボンの長さの何倍かを求める式として正しいのはどちらでしょうか。

$$30 \div 6$$



$$6 \div 30$$

- 2 黒いテープの長さは42 m, 白いテープの長さは7 mです。
黒いテープの長さは, 白いテープの長さの何倍ですか。

式

答え

□□は, △△の何倍ですか？

⇒ 「△△」がもとになるので, わる数として式をつくろう！

- 3 学力調査の問題に挑戦！

下の表は, ある市の水の使用量をまとめたものです

2010年の市全体の水の使用量は, 1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。

市全体の水の使用量

年 (年)	1980	1990	2000	2010
使用量(万 m^3)	700	1100	1300	1400

答え ()

月 日 名前 ()

1 9.7×4 を計算します。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか？

$$\begin{array}{r} 9.7 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

位をそろえて計算



$$\begin{array}{r} 9.7 \\ \times \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

右にそろえて計算

2 筆算で計算しましょう。

① 4.3×3	② 1.2×7	③ 12.6×3

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。	
① 13.9×7	② 90×0.7
答え ()	答え ()
H26	H29

月 日 名前 ()

- 1 20×0.6 の計算の仕方を考えます。考え方が正しいのはどちらでしょうか。

まず、0.6に10をかけて、 20×6 の計算をします。
その答えを、10でわって、答は12になります。



まず、0.6に10をかけて、 20×6 の計算をします。
その答えに、10をかけて、答は1200になります。

- 2 ()にあてはまる数を書きましょう。

① 30×0.2

→ $30 \times () = ()$

$() \div () = ()$

答え()

② 7×0.8

→ $7 \times () = ()$

$() \div () = ()$

答え()

- 3 学力調査の問題に挑戦！

60×0.4 の答えを求めるために、次のように、 60×4 の答えを使います。

60	\times	0.4	$=$	X
		↓	10をかける	↑
60	\times	4	$=$	240

?ではどのようなことをしますか。

下のアからウまでの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ア 10をかける
イ 10でわる
ウ そのまま答えにする

答え ()

月 日 名前 ()

- 1 3.5 ÷ 0.5 の計算の仕方を考えます。考え方が正しいのはどちらでしょうか。

まず、3.5と0.5の両方に10をかけて、35÷5の計算をします。わり算では、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」という性質があるので、答えは、7になります。



まず、3.5と0.5の両方に10をかけて、35÷5の計算をします。わられる数にもわる数にも10をかけたので、「10×10=100」の100で35÷5の答えをわるので、答えは、0.07になります。

- 2 ()にあてはまる数を書きましょう。

①

$$1.5 \div 0.3 = () \div ()$$

$$= ()$$

答え()

②

$$2 \div 0.4 = () \div ()$$

$$= ()$$

答え()

- 3 学力調査の問題に挑戦！

2.1 ÷ 0.7 を、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のように計算します。

2.1	÷	0.7	=	ウ
↓		↓		↑
10をかける		10をかける		
↓		↓		↑
ア	÷	7	=	イ

上の、ア、イ、ウに入る数を書きましょう。

ア () イ () ウ ()

月 日 名前 ()

1 6と4の最小公倍数を求めます。どちらの求め方が正しいでしょうか？

6の倍数 6,12,18,24,...

4の倍数 4,8,12,16,...

答え 12

2つの数の倍数で、最初に
同じ数になるものをさがす。



$6 \times 4 = 24$

答え 24

2つの数をかけて求める。

2 最小公倍数を求めましょう。

① 6と9

答え ()

② 3と18

答え ()

③ 10と12

答え ()

④ 2と3と9

答え ()

3 学力調査の問題に挑戦！

8と12の最小公倍数を書きましょう。

答え ()

A ふり	平均①	○○○○⑤⑥
------	-----	--------

月 日 名前 ()

1 下の表はあさっぴーの50m走の記録をまとめたものです。

50m走の記録

回数	1回め	2回め	3回め	4回め
記録(秒)	9.56	9.61	18.16	9.44

3回めは転んでしまいました…。

平均何秒で走ったかを求める正しい式はどちらでしょうか？

$$(9.56+9.61+9.44) \div 3$$



$$(9.56+9.61+18.16+9.44) \div 4$$

2 下の表はふりこが10往復する時間を6回測定し、まとめたものです。

ふりこが10往復する時間

実験回数(会め)	1	2	3	4	5	6
10往復する時間(秒)	14	7	15	14	14	15

2回めは正しく測定できませんでした…。

ふりこが10往復する時間の平均を求める正しい式を1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア $(14+15+14+14+15) \div 5$

イ $(14+7+15+14+14+15) \div 5$

ウ $(14+15+14+14+15) \div 6$

エ $(14+7+15+14+14+15) \div 6$

答え ()

3 学力調査の問題に挑戦！

下の表はゴムの力で動く車の進んだきよりをまとめたものです。
 車が進んだきよりの平均が何cmになるか求める正しい式を1つ選んで、その記号を書きましょう。

回数	車が進んだきより
1	2m73cm
2	80cm
3	2m87cm
4	2m69cm
5	2m91cm

- カ $(273+287+269+291) \div 4$
- キ $(273+ 80+287+269+291) \div 4$
- ク $(273+287+269+291) \div 5$
- ケ $(273+ 80+287+269+291) \div 5$

2回めは、車が大きく曲がってしまい、記録を正しくはかることができませんでした。

答え ()

Aふり	平均②	○○○○⑤⑥
-----	-----	--------

月 日 名前 ()

1 あるサッカーチームの最近5試合の得点は、下の表のとおりでした。

	最近5試合の得点				
試合	①	②	③	④	⑤
得点(点)	3	4	6	0	5

1 試合の得点が平均何点かを求める正しい式はどちらでしょうか？

$$(3+4+6+0+5) \div 5$$



$$(3+4+6+5) \div 4$$

2 下の表は、あさっぴーが4月から9月の間に読んだ小説の本の数を表しています。

	読んだ小説の本の数					
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本の数(さつ)	1	2	4	0	5	3

1 か月に読んだ小説の本の数は、平均何さつでしょうか。

式

答え ()

3 学力調査の問題に挑戦！

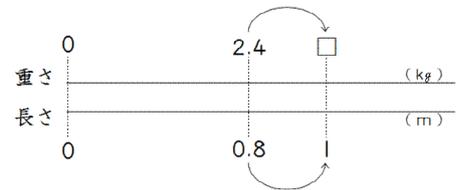
下の表は、月曜日から金曜日までの5日間に、畑でとれたトマトの数を調べたものです。この5日間では、1日に平均何個のトマトがとれたことになりますか。答えを書きましょう。

	畑でとれたトマトの数				
曜日	月	火	水	木	金
トマトの数	6	3	2	0	9

答え ()

月 日 名前 ()

- 1 0.8 mで2.4 k gの金属のパイプがあります。
このパイプの1 mの重さを求める正しい式はどちら
でしょうか？

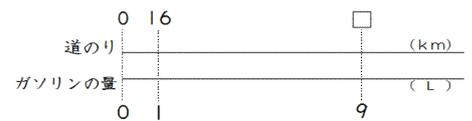


$$2.4 \div 0.8$$



$$2.4 \times 0.8$$

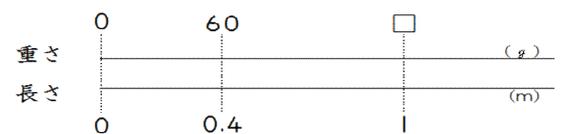
- 2 1 Lのガソリンで16 k m走る自動車があります。
この自動車は、9 Lのガソリンで何k m走るでしょう。
数直線をもとに、式を作りましょう。



式

- 3 学力調査の問題に挑戦！

0.4 mの重さが60 gの針金があります。
この針金1 mの重さを求める式を、下の1から4
までの中から1つ選んで、その番号を書きましょ
う。



- 1 $60 + 0.4$
2 60×0.4
3 $60 \div 0.4$
4 $60 - 0.4$

答え ()

A ぷり	こみぐあい	○○○○⑤⑥
------	-------	--------

月 日 名前 ()

1 次の表は、部屋の中にいる人数と部屋の面積を表しています。

どちらの部屋がこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ア $35 \div 7 = 5$
イ $24 \div 5 = 4.8$

部屋の中にいる人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
ア	7	35
イ	5	24

上の計算からわかることは、どちらでしょうか？

1人あたりの面積は、5m²と4.8m²なので、イのほうがかんではいる。



1m²あたりの人数は、5人と4.8人なので、アのほうがかんではいる。

2 次の表は、部屋の中にいる人数と部屋の面積を表しています。

どちらの部屋がこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ウ $10 \div 25 = 0.4$
エ $12 \div 40 = 0.3$

部屋の中にいる人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
ウ	10	25
エ	12	40

上の計算からわかることを、次の①から④までの中から選びましょう。

- ① 1m²あたりの人数は、0.4人と0.3人なので、ウのほうがかんではいる。
- ② 1m²あたりの人数は、0.4人と0.3人なので、エのほうがかんではいる。
- ③ 1人あたりの面積は、0.4m²と0.3m²なので、ウのほうがかんではいる。
- ④ 1人あたりの面積は、0.4m²と0.3m²なので、エのほうがかんではいる。

答え ()

わり算で「わられる数」と「わる数」の単位がちがうときには、「わられる数」の単位が答えにつきま

ず。

こみぐあいをくらべるときは、「1m²あたりの人数が多い」または「1人あたりの面積がせまい」ほうが、こんではいるといえます。

3 学力調査の問題に挑戦！

次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。

どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ア $16 \div 8 = 2$

イ $9 \div 5 = 1.8$

すわっている人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m^2)
カ	16	8
キ	9	5

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.8人なので、カのほうがこんでいる。
- ② $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.8人なので、キのほうがこんでいる。
- ③ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.8 m^2$ なので、カのほうがこんでいる。
- ④ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.8 m^2$ なので、キのほうがこんでいる。

答え ()

H30改

次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。

どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ア $12 \div 6 = 2$

イ $8 \div 5 = 1.6$

すわっている人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m^2)
A	12	6
B	8	5

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.6人なので、Aのほうがこんでいる。
- ② $1 m^2$ あたりの人数は、2人と1.6人なので、Bのほうがこんでいる。
- ③ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.6 m^2$ なので、Aのほうがこんでいる。
- ④ 1人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.6 m^2$ なので、Bのほうがこんでいる。

答え ()

H25改

月 日 名前 ()

1 $3 \div 7$ の答えを分数で表します。どちらの表し方が正しいでしょうか。

$3 \div 7 = 3/7$
わる数が分母になる。



$3 \div 7 = 7/3$
わられる数が分母になる。

2 商を分数や整数で表しましょう。また、約分できるものは、約分しましょう。

① $1 \div 7$ 答え ()	② $3 \div 5$ 答え ()	③ $11 \div 4$ 答え ()
④ $3 \div 12$ 答え ()	⑤ $12 \div 8$ 答え ()	⑥ $18 \div 4$ 答え ()
⑦ $9 \div 10$ 答え ()	⑧ $8 \div 7$ 答え ()	⑨ $7 \div 28$ 答え ()

3 学力調査の問題に挑戦！

商を分数で表しましょう。	
① $5 \div 9$ 答え ()	② $2 \div 3$ 答え ()
H29	H20

Aふり	割合	○○○○⑤⑥
-----	----	--------

月 日 名前 ()

- 1 ある学校の5年生の人数は80人です。アンケートではそのうち50人が「算数が好き」と答えました。算数が好きな人の割合が何%を求める式で正しいのはどちらでしょうか？

$$80 \div 50 \times 100$$

$$= 1.6 \times 100$$

$$= 160$$

答え 160%



$$50 \div 80 \times 100$$

$$= 0.625 \times 100$$

$$= 62.5$$

答え 62.5%

- 2 ある電車の定員は140人です。
ある日、実際に245人が乗ったそうです。
このときの乗車率は何%かを求める式を書きましょう。

式

比÷基=割
割×100=百分率(%)

基準量は、「全部」「全体」「先に決まっている数」のことが多いよ。

- 3 学力調査の問題に挑戦！

ある会場に子どもたちが集まりました。
集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。
小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.4%
2 2.5%
3 40%
4 80%

答え ()

月 日 名前 ()

1 たて3 cm, 横5 cm, 高さ4 cmの直方体があります。

この直方体の高さを3倍にしたときの体積は, もとの直方体の体積の何倍になるかを考えます。
この問題の答えの求め方として, すっきりとしているのはどちらでしょうか?

直方体のたてと横の長さが決まっているとき, 直方体の体積は高さに比例します。
だから, 高さが3倍になれば, 体積も3倍になります。



もと $3 \times 5 \times 4 = 60$
高さ3倍 $3 \times 5 \times (4 \times 3) = 180$
 $180 \div 60 = 3$
答え 3倍

2 底辺が4 cm, 高さが5 cmの三角形の三角形があります。

この三角形の高さを4倍にしたときの面積は, もとの三角形の面積の何倍になりますか。
説明しましょう。

三角形の()の長さが決まっているとき, 三角形の()は()に()します。
だから, 高さが4倍になれば, 体積も()になります。

3 学力調査の問題に挑戦!

下の文の()にあてはまるものを考えます。

円があります。この円の直径の長さを2倍にします。
このとき, 直径の長さを2倍にした円の円周の長さは, もとの円周の長さの()倍になります。

答え ()

月 日 名前()



12-9のけいさんは、
まず、12を10と2にわけます。
つぎに、10から9をひくと1になります。
さいごに、のこっていた2と、1をたすと、
こたえは3になります。



13-8のしかたを、あさっぴーのせつめいをおて
ほんにして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

13-8のけいさんは、
まず、13を()と()にわけます。
つぎに、()から()をひくと()になります。
さいごに、のこっていた()と、()をたすと、
こたえは()になります。

☆ レベルアップ！

11-7のけいさんのしかたをせつめいしましょう。

月 日 名前 ()



37というかずは、
10を3こと、1を7こあわせたかずです。
そして、
十のくらいが3、一のくらいが7のかずです。



62はどんなかずか、あさっぴーのせつめいをおて
ほんにして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※ () にあてはまる数を書きましょう。

62というかずは、

10を()こと、1を()こあわせたかずです。

そして、

十のくらいが(), 一のくらいが()のかずです。

☆ レベルアップ!

95はどんなかずかせつめいしましょう。

そして、

月 日 名前 ()



450は、10を何こあつめた数かというと、
450は400と50に分けられて、
400は10を40こあつめた数、
50は10を5こあつめた数だから、
あわせて、45こになります。



380は、10を何こあつめた数か、あさっぴーのせつめい
をお手本にして、せつめいしましょう。

◎書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

380は、10を何こあつめた数かというと、

380は()と()に分けられて、

()は10を()こあつめた数、

()は10を()こあつめた数だから、

あわせて、()こになります。

☆レベルアップ！

290は、10を何こあつめた数かせつめいしましょう。

月 日 名前 ()



100を23こあつめた数は、
23は20と3に分けられて、
100が20こで、2000、
100が 3こで、300だから、
あわせて、2300になります。



100を68こあつめた数はどんな数か、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

100を68こあつめた数は、

68は()と()に分けられて、

100が()こで、()、

100が()こで、()だから、

あわせて、()になります。

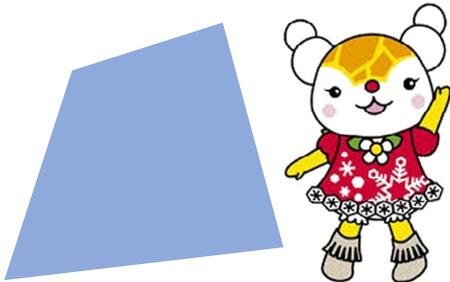
☆レベルアップ！

100を49こあつめた数はどんな数かせつめいしましょう。

月 日 名前 ()



これは、三角形という形です。
3本の直線でかこまれた形を三角形
 といいます。



これは、四角形という形です。
 四角形とはどんな形か、あさっぴーの
 せつめいをお手本にして、せつめいしま
 しょう。

◎ 書いてみよう！

形を四角形といいます。

☆ レベルアップ！！

	これは、五角形という形です。 五角形はどんな形か、せつめいしましょう。

月 日 名前 ()

200×3の計算は、
200は100を2こあつめた数なので、
2×3=6で、
ぜんぶで100を6こあつめた数になります。
だから、 $200 \times 3 = 600$ になります。



400×6のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

1 書いてみよう！ ※()にあてはまる言葉や数を書きましょう。

400は()を()こあつめた数なので、

()×()=()で、

ぜんぶで()を()こあつめた数になります。

だから、 $400 \times 6 = ()$ になります。

2 レベルアップ！

500×8の計算のしかたをせつめいしましょう。

月 日 名前 ()

$\frac{2}{7} + \frac{3}{7}$ の計算は、
 $\frac{2}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が 2 ぶん、 $\frac{3}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が 3 ぶん、
 あわせると、2+3=5 で、
 $\frac{1}{7}$ が 5 ぶんなので、答えは $\frac{5}{7}$ です。



$\frac{3}{9} + \frac{4}{9}$ のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※ () にあてはまる言葉や数を書きましょう。

$\frac{3}{9}$ は、() が () ぶん、 $\frac{4}{9}$ は () が () ぶん、

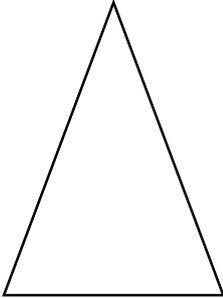
あわせると、() + () = () で、

() が () ぶん、答えは () です。

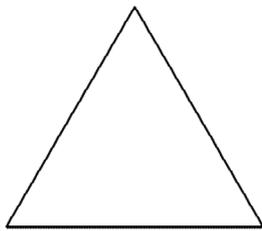
☆ レベルアップ！

$\frac{1}{5} + \frac{2}{5}$ の計算のしかたをせつめいしましょう。

月 日 名前 ()



これは、二等辺三角形という形です。
2つの辺の長さが等しい三角形を、
二等辺三角形といいます。



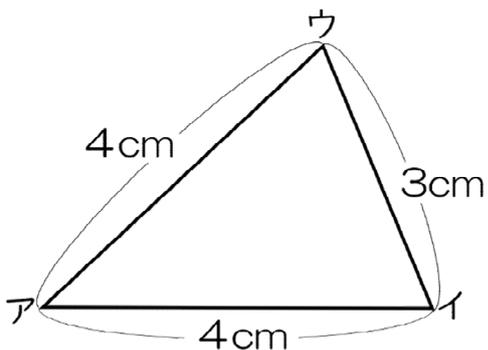
これは、正三角形という形です。
正三角形とはどんな形か、あさっ
ぴーのせつめいをお手本にして、せつ
めいしましょう。

◎ 書いてみよう！

を、正三角形といいます。

☆ レベルアップ！！

下の三角形は、二等辺三角形です。そのわけを書きましょう。



月 日 名前 ()

1200÷400の計算は、
100をもとにして考えると
 1200÷100=12, 400÷100=4で、
 12÷4と等しくなるので、答えは3です。



3600÷900のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう! ※()にあてはまる数を書きましょう。

()をもとにして考えると、

3600÷()=(), 900÷()=()で、

()÷()と等しくなるので、答えは()です。

☆ レベルアップ!

5600÷700の計算のしかたをせつめいしましょう。

☆ レベルアップ!!

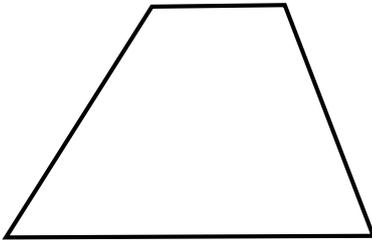
1500÷50の計算のしかたをせつめいしましょう。

()をもとにして考えると、

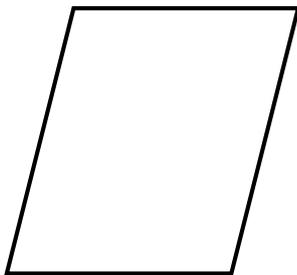
()÷()=(), ()÷()=()で、

()÷()と等しくなるので、答えは()です。

月 日 名前 ()



これは、台形という形です。
向かい合った1組の辺が平行な四角形を、台形といいます。



これは、平行四辺形という形です。
平行四辺形とはどんな形か、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！

な四角形を、平行四辺形といいます。

☆ レベルアップ！

平行四辺形のせいしつ

平行四辺形では、次のことがいえます。

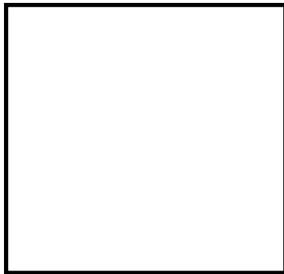
向かい合った**辺**の()は

()なっています。

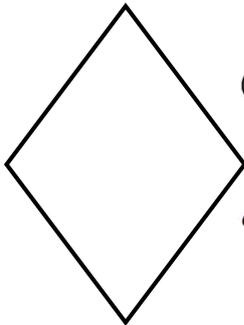
向かい合った**角**の()は

()なっています。

月 日 名前 ()



これは、正方形という形です。
4つの角がすべて直角で、4つの辺の長さがすべて等しい四角形を正方形と
 いいます。



これは、ひし形という形です。
 ひし形とはどんな形か、せつめいしましょ
 う。

◎ 書いてみよう！

四角形を、ひし形といいます。

☆ レベルアップ！

ひし形のせいしつ

ひし形では、次のことがいえます。

向かい合った辺は()になっています。

向かい合った角の()は

()になっています。

月 日 名前()

2.5+1.3の計算は、
2.5は0.1が25こ、
1.3は0.1が13こで、あわせると、
0.1が38こになるので、答えは3.8です。



1.2+2.7のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

1.2は、()が()こ、

2.7は、()が()こで、

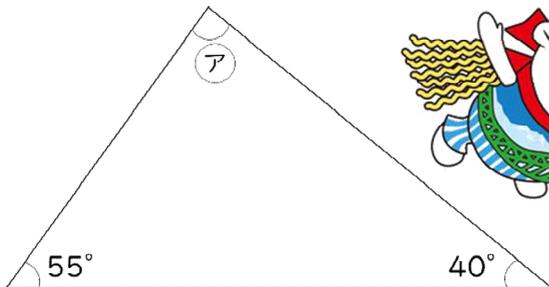
あわせると、()が()こになるので、

答えは()です。

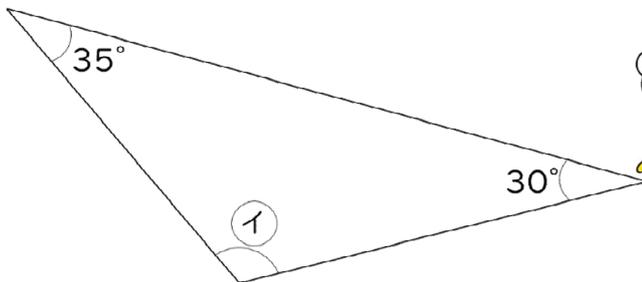
2 レベルアップ！

2.13+0.21の計算のしかたをせつめいしましょう。

月 日 名前 ()



角アの大きさを求めるには、
三角形の角の大きさの和は 180° なの
で、ア以外の角の大きさの和を180から
ひけばいいので、
 $180 - (55 + 40)$ で求められます。



角イの大きさの求め方を、あ
さっぴーの説明をお手本にして、
説明しましょう。

◎ 書いてみよう！

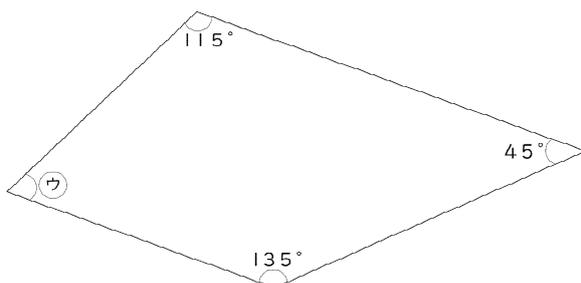
三角形の角の大きさの和は、() $^\circ$ なので、

イ以外の角の大きさの和を()からひけばいいので、

()で求められます。

☆ レベルアップ！

角ウの大きさの求め方を説明しましょう。



四角形の角の大きさの和は、
() $^\circ$ なので、ウ以外の
角の大きさの和を()から

ひけばいいので、

()で

求められます。